

# 新技術交流イベント 2022

in Shizuoka



**出展無料**

～VIRTUAL SHIZUOKA でつくる ミ・ラ・イ～

**出展のご案内**

詳細・お申込みはこちらから

新技術交流イベント2022

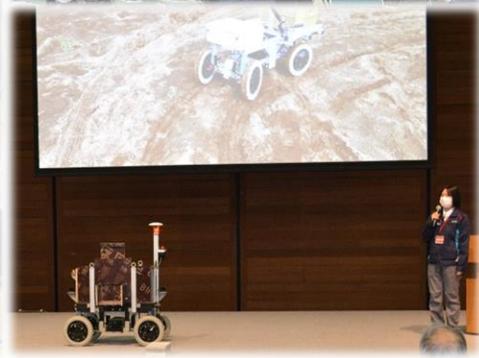
検索



**出展募集期間**

7月19日(火)～8月31日(水)

建設現場のニーズと企業等のシーズのマッチングを図ります！



日時

2022年11月8日(火) 10:00～16:00

会場

静岡県コンベンション  
アーツセンター **グランシップ** 6階 交流ホール  
展示ギャラリー

主催

静岡県交通基盤部 イベントの様子はオンラインでも配信予定！

お問合せ

静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課

TEL:054-221-2131 E-mail:gijyutsukanri@pref.shizuoka.lg.jp

# 新技術交流イベント in Shizuoka 2022

## 開催概要

名称	新技術交流イベント in Shizuoka 2022 ～VIRTUAL SHIZUOKA でつくる ミ・ラ・イ～
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>● 建設現場のニーズと企業等が保有する技術シーズのマッチングを図ることにより、建設現場の課題解決が可能な先進技術の現場導入を推進し、生産性の向上につなげます。</li><li>● 建設技術や建設産業の魅力を広く紹介し、将来の担い手確保につなげます。</li></ul>
日時	令和4年11月8日(火) 10:00～16:00
会場	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 6階交流ホール・展示ギャラリー
主催	静岡県交通基盤部 (事務局：静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課)
対象	建設関係企業、建設コンサルタント、研究機関、官公庁、一般

※ 今年度は一般入場可で開催する予定ですが、県内の新型コロナウイルスの感染状況等により、変更になる可能性があります。

## 出展募集技術

- 5分野13の技術テーマから出展技術を募集します。
- 技術テーマ及び現場ニーズの具体例は、P5～P7を参照してください。
- 技術テーマに沿っていれば、現場ニーズの具体例に沿っていない技術でも応募可能です。
- 本年度は、3次元点群データの活用に関する技術を特に求めます。

分野1. ICTを活用した  
省力化・省人化

分野2. 設計・施工・  
維持管理の効率化

分野3. 工事現場の  
安全確保

分野4. 県産ものづくり  
技術の活用促進

分野5. 建設分野の  
カーボンニュートラル

## 応募要領

応募資格	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自社で開発した技術を保有する企業、団体又は個人とします。</li><li>● 複数の構成員での応募も可能です。</li><li>● 知的財産権を侵害している技術及び展示物の出展を禁止します。</li></ul>
応募書類	<ul style="list-style-type: none"><li>● 別添の応募申請書に必要事項を記入の上、応募してください。</li><li>● 応募申請書は、以下のURLからダウンロードできます。 <a href="https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-130/r04kouryu.html">https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-130/r04kouryu.html</a></li></ul>
応募書類の提出	<ul style="list-style-type: none"><li>● 以下のアドレスに電子メールで提出してください。 E-mail : <a href="mailto:gijyutsukanri@pref.shizuoka.lg.jp">gijyutsukanri@pref.shizuoka.lg.jp</a></li></ul>
応募期間	<ul style="list-style-type: none"><li>● 令和4年7月19日(火)～8月31日(水) 17時まで</li></ul>

# 新技術交流イベント in Shizuoka 2022

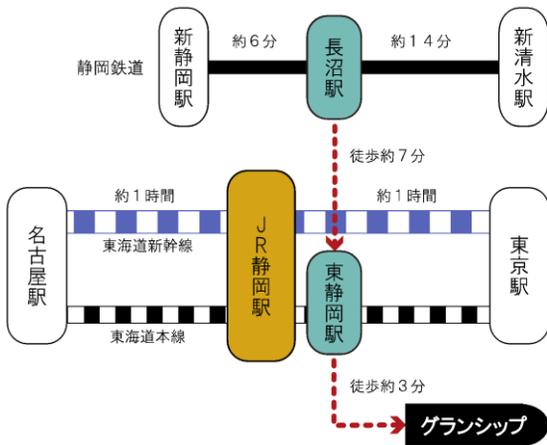
## イベント内容

ブース展示	<ul style="list-style-type: none"><li>● パネル等の展示物により、来場者に保有技術等のPRをしていただきます。</li><li>● <b>来場者参加型のブース展示大歓迎です！</b></li><li>● 現場導入等について情報交換をしていただきます。</li></ul>
講演	<ul style="list-style-type: none"><li>● 小山真人 氏 静岡大学 地域防災センター教授</li><li>● 杉山 明 氏 Epic Games Japan ビジネス開発マネジメントマネージャー</li><li>● 重松克弥 氏 株式会社フジヤマ 防災環境保全部 主任</li><li>● 小林 剛 氏 株式会社エコワーク ICT推進課 課長</li><li>● 杉本直也 氏 静岡県交通基盤部政策管理局建設政策課 課長代理</li><li>※ 順不同。現時点での予定であり、変更になる場合があります。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● 技術展示とは別に、企業・団体、大学、官公庁等の取組をPRする展示ブースを設け、建設産業の魅力を発信します。</li><li>● 静岡どぼくらぶフォトコンテスト2022の表彰式を同時開催します。</li><li>● イベントの様子は<b>オンラインでライブ配信</b>する予定です。</li></ul>
<h2>留意事項</h2>	
出展の採否	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出展の採否は、応募締め切り後、概ね1週間を目途にお知らせします。</li></ul>
出展費用	<ul style="list-style-type: none"><li>● 主催者へお支払いいただく<b>出展費用はありません。</b></li><li>● 会場までの交通費や、出展に要する経費等は、各自で御負担ください。</li></ul>
ブース構成	<ul style="list-style-type: none"><li>● 寸法は、幅1.8m×奥行1.8mを基本とする予定です。展示内容が<b>来場者参加型の場合は別途考慮</b>します。</li><li>● 各ブースに、机（1.8m×0.45m）、椅子、コンセントを配備します。</li><li>● 出展企業、出展技術を案内するプレートを主催者が用意します。</li><li>● ポスターやパネルをブース壁面に展示できます。モニター等の機材の持込やのぼり旗等の設置も可能です。</li><li>● ブース配置は、出展技術が出揃った後、事務局で決定します。</li></ul>
権利関係	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出展者は、提案内容に係る知的財産権その他第三者の権利を侵害しないよう注意し、必要がある場合には、御自身の責任において適切に権利を利用するようにしてください。</li></ul>
CPD・CPDS	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本イベントは（一社）建設コンサルタンツ協会のCPD、（一社）全国土木施工管理技士連合会のCPDSの認定プログラムとする予定です。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>来場者参加型の展示を希望される場合は、応募時にその旨御記載ください。</b>詳細は、事務局にて受付け後、個別に調整させていただきます。</li><li>● 応募内容が本イベントの趣旨にそぐわない場合、事務局はお申込みを保留させていただきます。</li><li>● やむを得ない事情により、主催者は予定の一部を変更する場合があります。</li></ul>

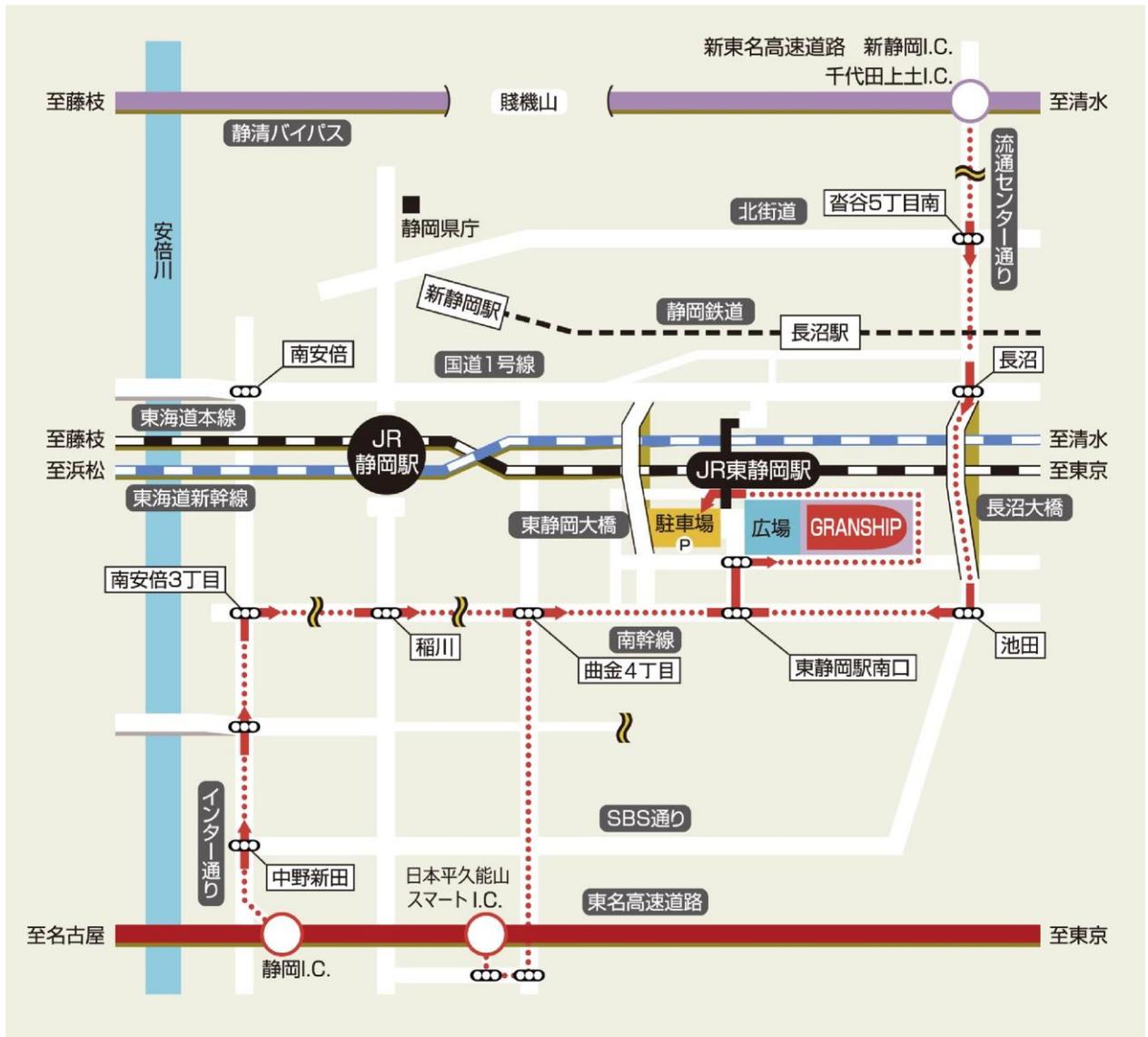
# 会場案内

## 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 6階 交流ホール 展示ギャラリー

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号  
TEL : 054-203-5710 (代表) FAX : 054-203-5716



- JR東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩約3分
- 静岡鉄道 長沼駅から徒歩約10分
- 東海道新幹線（ひかり）で東京から1時間、大阪から2時間  
JR静岡駅乗り換え、東静岡駅まで3分
- 車では 東名高速道路 静岡ICから6km、約20分  
日本平久能山スマートICから4km、約10分  
新東名高速道路 新静岡ICから9km、約15分  
静岡清バイパス 千代田上土ICから4km、約10分

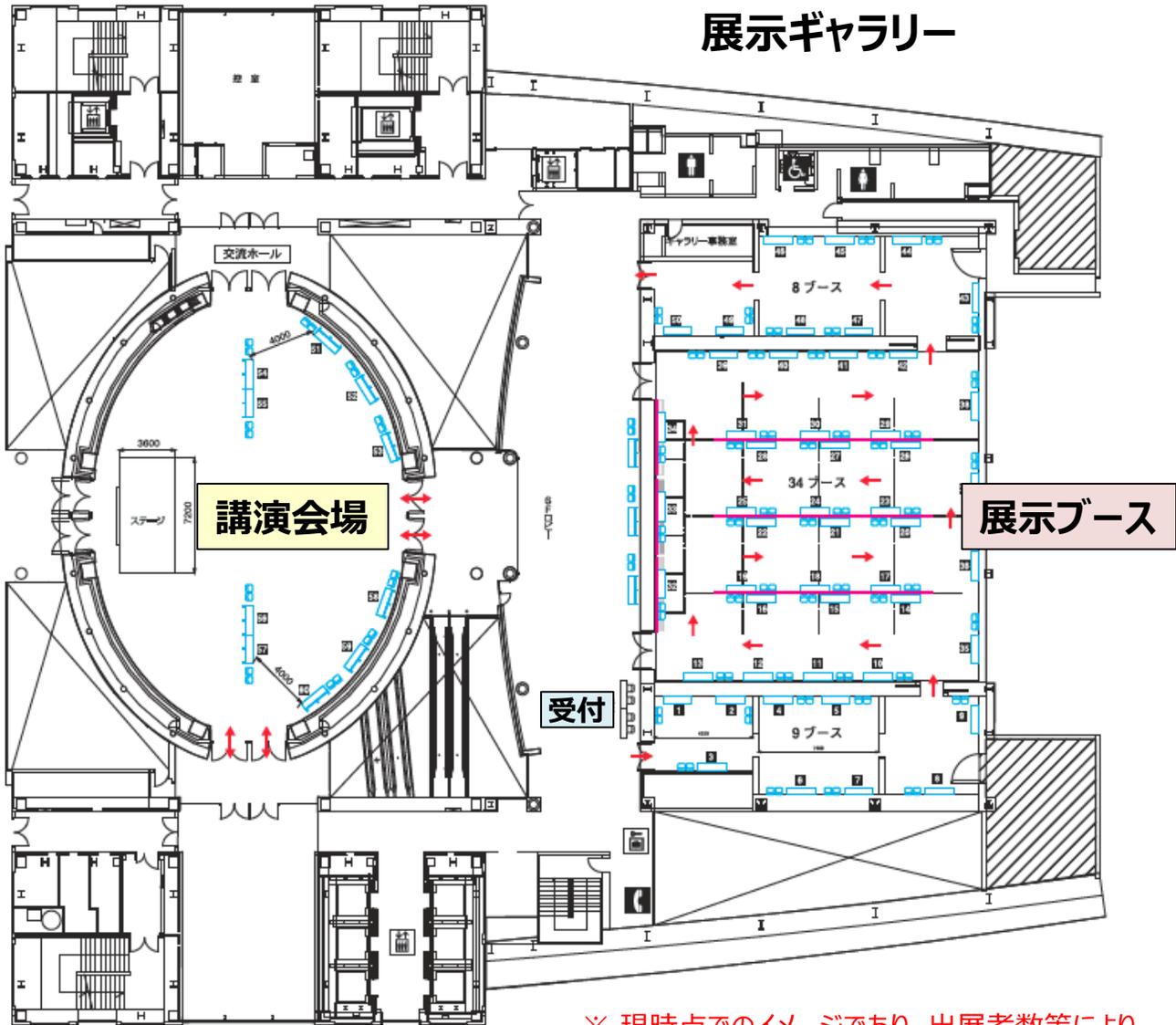


# 会場レイアウト イメージ

## グランシップ 6階

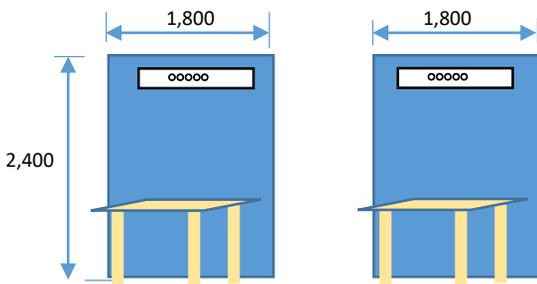
### 交流ホール

### 展示ギャラリー



※ 現時点でのイメージであり、出展者数等によりレイアウトは変更になります。

### 各ブースのイメージ



- ひとつのブースの寸法は、幅1.8m×奥行1.8mの大きさを基本とします。
- 各ブースに、机（1.8m×0.45m）1台、椅子2脚、コンセント一口を配備します。
- 出展企業、出展技術を案内するプレートを主催者が用意します。
- ポスターやパネルをブース壁面に展示できます。モニター等の機材の持込やのぼり旗等の設置も可能です。
- ブース配置は、技術テーマごとに事務局で決定します。

**分野 1. ICTを活用した省力化・省人化**

**技術テーマ 1. 調査・測量・設計業務の生産性向上を図るICT関連技術**

1	無人ドローン等による効率的な河川測量技術
2	道路や橋梁の維持管理・点検の効率化・簡素化が可能となる技術
3	既知の座標点を現場に示すことができる測量機器・技術
4	水中地形を効率的に計測する技術
5	ボーリングで得られた地質情報を3次元化する技術
6	植栽した苗木をオルソ画像から判別する技術
7	鳥獣害防護柵の延長（斜距離）を簡易に計測する技術
8	林冠に覆われている森林内で現地測量を省略する技術

**技術テーマ 2. 施設点検業務の効率化を図るICT関連技術**

9	道路法面に散在する不安定岩塊を抽出する技術
10	ロボットによる構造物の点検技術

**技術テーマ 3. 施工・維持管理の生産性向上を図るICT関連技術**

11	作業員の負担を軽減するパワードスーツ
12	レーザーによる寸法測定により出来形管理を効率化する技術
13	配筋の検査・立会を効率化する技術

**技術テーマ 4. 3次元点群データの有効活用により業務・工事の効率化を図る技術**

14	管渠内の3次元点群データを取得する技術
15	3次元点群データの閲覧・計測を容易に行うことが可能な技術
16	高精度の点群データを生成できる測量技術
17	AR（拡張現実）を活用した丁張レス施工が可能な技術

分野2. 設計・施工・維持管理の効率化	
---------------------	--

技術テーマ5. 調査・設計業務の精度向上を図る技術	
---------------------------	--

18	既設鉄筋位置を高精度で探査する技術
----	-------------------

技術テーマ6. 施工の生産性向上を図る技術	
-----------------------	--

19	仮締切や仮栈橋のコスト縮減技術
----	-----------------

20	既設鋼橋の塗膜を短時間で除去する技術
----	--------------------

21	狭小現場でも低騒音・低振動で施工可能な地盤改良技術
----	---------------------------

22	コンクリート仕上げ作業を自動で行う技術
----	---------------------

23	コンクリート打継目処理の効率化が可能な技術
----	-----------------------

24	狭所でも設置可能な簡易組立足場
----	-----------------

技術テーマ7. 維持管理の効率化を図る技術	
-----------------------	--

25	河川や道路の効率的かつ経済的な除草・防草技術
----	------------------------

26	路面補修を簡便に短時間で行うことが可能な技術
----	------------------------

27	ボーリング水抜き孔の孔内洗浄を少量の水で実施できる技術
----	-----------------------------

28	経済性や施工性に優れたコンクリート構造物のはく落防止技術
----	------------------------------

29	既設擁壁の簡易な補強技術
----	--------------

30	浚渫砂に含まれるゴミ、礫、Coガラの除去が可能な技術
----	----------------------------

31	中長距離のスパンで大口径管の管内洗浄を行える技術
----	--------------------------

32	農業用貯水槽におけるアオコの増殖を自家発電装置で抑える技術
----	-------------------------------

技術テーマ8. 施設点検業務の効率化を図る技術	
-------------------------	--

33	道路付属施設の劣化状態の評価を非破壊で行うことが可能な技術
----	-------------------------------

34	管渠の老朽化調査・漏水調査を簡易に行うことが可能な技術
----	-----------------------------

**分野3. 工事現場の安全確保**

**技術テーマ9. 交通誘導に関する新技術**

35	ICTの活用により交通誘導業務を支援する技術
36	交通規制中の追突事故を減らす技術

**技術テーマ10. 公衆災害を防止する技術**

37	地下埋設物や地下空洞の探査を簡易で高精度に行う技術
38	除草時に飛び石が飛ばない除草機械に関する技術
39	ダンプトラックの積載重量を容易に計測可能な技術

**技術テーマ11. 労働災害を防止する技術**

40	重機が人や物を感知して警告・自動停止する技術
----	------------------------

**分野4. 県産ものづくり技術の活用促進**

**技術テーマ12. 静岡県産の新技術**

**分野5. 建設分野のカーボンニュートラル**

**技術テーマ13. 建設分野のカーボンニュートラル技術**